

## 2020「アジア都市景観賞」の受賞について

特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 専務理事 渡辺 豊博

### 1. 「アジア都市景観賞」の受賞

特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島が、応募申請した景観に関する国際賞である2020年「アジア都市景観賞」において、三島市(静岡県)―「水の都・三島」の環境資源を地域協働で再生して「水と緑の湧水網都市」創造事業が、「アジア都市景観賞」を受賞することができました。

本会が28年間にわたり創り上げてきた地域協働の仕組みにより、汚れ、未利用の環境資源を市民力で再生することにより、水と緑の湧水網都市を創造し、街中に賑わいを取り戻しました。

事業内容は、汚れた「源兵衛川」をホテルが舞い子どもたちの川遊びの歓声が響く清流に蘇らせた水辺再生、市内から姿を消した水中花・三島梅花藻の復活、絶滅危惧種ホトケドジョウやゲンジボタルの生息拡大、狩野川に現存する貴重な旧河川敷「松毛川」の河畔林の森づくりトラスト運動による買収、富士山からの湧水池と谷地田を保全した「境川・清住緑地」湧水公園の整備、歴史的な井戸・お不動さん・水神さんの復活など、市内70箇所に実践地を蓄積してきました。

また、環境出前講座や自然観察会、環境インストラクターの人材育成、イギリスやネパール・台湾との国際交流、災害支援などの市民活動を含め、その多彩な成果と具体的な実績が評価されての受賞となりました。

今回、行政や専門家とともに市民主導で進めてきた、三島の宝物の水と緑の環境資源を活用した、まちづくり手法と仕組みが、国際的に認知されたことを誇りに思うとともに、今後とも「三島磨き」に全力で取り組んでいく決意を新たにしました。

### 2. 「アジア都市景観賞」受賞発表

Youtube 動画の公開予定時刻は、2020年12月16日(水)午前11時からです。

下記のリンクからご視聴ください。 <https://youtu.be/EJQDMp850rM>

### 3. 「アジア都市景観賞」の概要

「アジア都市景観賞」は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、2010年に創設された景観に関する国際賞です。アジアの優れた景観をアピールし、また、発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し、表彰するものです。

(評価基準)

- ・地球環境に優しく、共存するものであるか
- ・安全で利用者に優しく、持続性があるか
- ・地域の文化、歴史を尊重しているか
- ・芸術性が高いか
- ・地域の発展に貢献し、他都市の模範となるか

### 4. 本年度授賞案件 全6か国13件※(エントリー総数6か国24件、うち日本5件)

※第1回から第11回までの日本国内での授賞数は累計で35都市、海外も含めると16か国、104都市・地域、136案件

日本：3件

#### 【アジア都市景観賞】受賞

三島市 「水の都・三島」の環境資源を地域協働で再生して「水と緑の湧水網都市」創造事業

長崎市 「環長崎港地域アーバンデザインシステムによるまちづくり」

大分市 「線路敷ボードウォーク広場(大分歴史回廊)」

海外：10件

【アジア都市景観賞】受賞

韓国：3件、中国：3件、タイ：1件、ネパール：1件

【アジア都市景観賞 審査員賞】受賞

マレーシア：1件、韓国：1件

【アジア都市景観賞 Asian Townscapes Award.】

審査員による採点の結果、評価基準に照らして一定水準以上に達した案件に授与される。

【アジア都市景観賞 審査員賞 Asian Townscapes Jury's Award.】

審査員の審議により、授賞水準に到達する可能性がきわめて高く、今後さらなる取組みが期待できる案件。あるいは、優れた内容の未完プロジェクトなどで審査員賞の授与を契機に発展的な進捗が期待できる案件に対し奨励的に授与される。

○主催団体の概要

・国連ハビタット福岡本部

国連ハビタットは都市化と居住の問題に取り組む国連機関であり、その使命は政策提言、能力開発、国際・地域・国家・地方といったレベルでのパートナーシップ構築を通して、社会的、環境的に持続可能なまちや都市づくりを促進することである。各国政府・地方自治体・NGO・民間のほか、他の国連機関とともに活動を行っており、人間居住に関する関心を高めるなどの情報提供活動を行っている。福岡本部は、地域レベルでの事業活動強化と本部機能の分散化を図るため「アジア太平洋地域事務所」として1997年8月開設。

・アジアハビタット協会

環境や生態系、歴史的文化遺産と調和した都市開発の重要性について関心と認識を高めるため、2004年2月に香港で設立された学術団体

・福岡アジア都市研究所

福岡市や市民・産業界・学会などの協力と連携のもとに都市政策を研究し、アジアの視点を取り入れながら、将来の都市戦略を提言する研究機関。2004年発足。

・アジア景観デザイン学会

アジアにおける景観の諸課題に取り組む国際学会として2004年発足。

5. 過去の受賞案件(日本国内)

年度	受賞都市	地区数
2010	札幌市、福岡市、小国町	3
2011	熊本市、広島市、神戸市、福岡市	4
2012	鹿児島市、倉敷市	2
2013	松江市、長崎市、北九州市	3
2014	宮古市、姫路市、福岡市、竹田市	4
2015	南魚沼市、萩市、福岡県	3
2016	松山市、東川町、小松市、玖珠市	4
2017	柏市、草津町、十津川村、豊後高田市	4
2018	福岡市、女川町、松山市	3
2019	帯広市、内子町	2
2020	三島市、長崎市、大分市	3
計		35

## 6. 応募した内容

### ①事業名

「水の都・三島」の環境資源を地域協働で再生して「水と緑の湧水網都市」創造事業

### ②都市名・国名

静岡県三島市・日本

### ③ホームページ

<http://www.gwmishima.jp/>

### ④事業主体

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島・静岡県・三島市 など

### ⑤事業概要

#### ○事業背景・目的

静岡県三島市は富士山からの湧水が街中を毛細血管のように流れる「水の都」でしたが、1960 年以降、湧水が減少し、川は汚れゴミが捨てられ、ドブ川になりました。

そこで、グラウンドワーク三島が発足し、市民・NPO・行政・企業が連携する「地域協働」の仕組みを創り上げ、傷付き未利用の環境資源を市民力で再生することにより「水と緑の湧水網都市」を創造して、街中に賑いを取り戻すことを目的としました。

#### ○事業概要

- ・場所 静岡県三島市、沼津市
- ・期間 1992 年～現在まで
- ・内容

汚れた「源兵衛川」を 3 年間で 250 回以上のゴミ拾いを行いホタルが乱舞して子どもたちの川遊びの歓声が響く清流に蘇らせた水辺再生、市内から姿を消した水中花・三島梅花藻の復活、絶滅危惧種ホトケドジョウやゲンジボタルの生息拡大、狩野川に現存する貴重な旧河川敷「松毛川」の河畔林の森づくりとトラスト運動による買収、富士山からの湧水池と谷地田を保全した「境川・清住緑地」湧水公園の整備、歴史的な井戸・お不動さん・水神さんの復活など市内 70 箇所実践地を造成してきました。

環境出前講座や自然観察会の開校、環境インストラクターの人材育成、イギリスやネパール・台湾との国際交流、災害支援など多彩な市民活動にも取り組んでいます。

#### ○事業の社会的意義

環境資源を再生する「環境再生」、地域と街中の賑わいを創る「地域再生」、耕作放棄地を有効利用する「農業再生」、街中の活性化と高齢者の雇用確保と生きがいづくりを行う「環境コミュニティビジネス」の展開など、多分野から街中の活性化に取り組んできました。

結果、活動への参加者は毎年 1 万人以上、視察者は 1,500 人、観光入込数はこの 27 年で 4 倍の 720 万人に増加し中心商店街には、空き店舗がほとんど無くなりました。地域協働による「市民公協事業」が、環境資源を再生した地域固有の潤いのある幸せな生活環境と地域発展に貢献した「社会モデル」を構築しました。

### ⑤担当者・連絡先

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 専務理事 渡辺 豊博

問合せ	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島(担当：渡辺・美和・澤目) 〒411-0857 三島市芝本町 6-2 TEL (055)983-0136 FAX (055)973-0022 E-mail <a href="mailto:info@gwmishima.jp">info@gwmishima.jp</a> URL <a href="http://www.gwmishima.jp/">http://www.gwmishima.jp/</a>
-----	--